

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-125190

(P2012-125190A)

(43) 公開日 平成24年7月5日(2012.7.5)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C12N 15/09 (2006.01)	C12N 15/00 ZNAA	4B024
C07K 7/06 (2006.01)	C07K 7/06	4B064
C07K 7/08 (2006.01)	C07K 7/08	4B065
C07K 14/02 (2006.01)	C07K 14/02	4H045
C07K 19/00 (2006.01)	C07K 19/00	

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 19 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2010-279906 (P2010-279906)
 (22) 出願日 平成22年12月15日 (2010.12.15)

特許法第30条第1項適用申請有り 研究集会名 第48回日本生物物理学会年会 主催者名 日本生物物理学会 会長 片岡 幹雄 開催日 平成22年(2010年)9月20日~22日

(71) 出願人 599035627
 学校法人加計学園
 岡山県岡山市北区理大町1-1

(74) 代理人 100088904
 弁理士 庄司 隆

(74) 代理人 100124453
 弁理士 資延 由利子

(74) 代理人 100135208
 弁理士 大杉 卓也

(74) 代理人 100152319
 弁理士 曾我 亜紀

(74) 代理人 100163544
 弁理士 平田 緑

(72) 発明者 松本 治
 千葉県銚子市潮見町3 千葉科学大学内
 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 会合ユニット作製用リンカーペプチド

(57) 【要約】

【課題】 目的タンパク質について、より効果的に結晶を作製するために必要な方法を提供することを課題とする。具体的には、ウイルスクャプシドタンパク質と目的タンパク質の複合体を含む会合ユニットを用いて結晶を作製するために必要な方法を提供する。

【解決手段】 ウウイルスクャプシドタンパク質と目的タンパク質の複合体を含む会合ユニットを作製するためのリンカーについて、グリシン (G) -グリシン (G) -セリン (S) の3残基からなるアミノ酸配列を一単位とし、当該一単位のアミノ酸配列を2~6個含むリンカーペプチドを用いることで、より効果的に会合ユニットを作製しうる。

【選択図】 図1

